

具体的な研修コース

1. 研修のねらい

- (1) デジタルコンテンツを活用する意義を理解する。
- (2) デジタルコンテンツを活用する手順と教材化する方法を知る。
- (3) デジタルコンテンツを活用した自分のレシピを作成する。

2. 研修の対象者

校務や個人でのコンピュータ活用、インターネット活用などはできるが、授業での活用に積極的でない教員を対象とする。

3. 研修の流れ(2時間×4回)

(1) 「デジタルコンテンツって何だろう！」

- ・平成17年度以降の教室のイメージを紹介し、「デジタルコンテンツ」の意味や意義を説明する。
- ・次の4つのサイトを使い、自由にデジタルコンテンツを見せる。
 - IT 授業"実践ナビ：<http://www.nicer.go.jp/itnavi/mokuji.html>
 - 教育情報ナショナルセンター：<http://www.nicer.go.jp/>
 - 火曜の会ホームページ：<http://kayoo.org/home/>
 - 教材アイデア発表会：<http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/jisaku/>
- ・受講者のスキルレベルに合わせて、必要であればネット検索の方法も指導する。

e-learning の実施

e-learning を紹介し、基本設定をさせる。

Unit 1 目的に合ったデジタルコンテンツを探そう(2時間)

課題：授業で使えるデジタルコンテンツを見つけよう。

評価基準：自分の授業に役立つデジタルコンテンツを探すことができたか。

- A：3つ以上のデジタルコンテンツを探すことができ、概要がしっかり書けている。
- B：3つ程度のデジタルコンテンツを探すことができる。
- C：適当なデジタルコンテンツを探すことができない。

- ・Unit1 を次回までにしておく。

(2) 「デジタルコンテンツを使ってみよう！」

- ・「教材アイデア発表会：<http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/jisaku/>」に登録されているコンテンツの中から、今回の研修で自分が使うコンテンツを選ぶ。
- ・選んだコンテンツを使った授業で、子どもたちにつけたい力を「行動目標カード」に記入して単元の構成を考える。
- ・授業の略案を作成する。

e-learning の実施

Unit 2 デジタルコンテンツを使った授業を考えよう(2 時間)

課題(1)：デジタルコンテンツを使った授業の略案を作ろう。

評価基準：作成（提出）した略案の展開は、コンテンツを効果的に活用したものであるか。

- A：デジタルコンテンツの活用場面、活用方法が効果的である。
- B：デジタルコンテンツの活用場面は明確であるが、活用方法が明確でない。
- C：デジタルコンテンツの活用に関して、明確な記述がない。

課題(2)：デジタルコンテンツを使った授業について意見交流しよう。

評価基準：自分の意見・感想などを交流の場で言えたか。

- A：デジタルコンテンツを使った授業についての具体的なイメージを持ち、自分の意見・感想を書き込むことができる。
- B：デジタルコンテンツを使った授業について、自分の意見・感想を書き込むことができるが、具体的なイメージについては明確ではない。
- C：掲示板に書き込むことができない。

- ・次回までに Unit2 をしておき、略案を完成させておく。

(3) 「教材レシピを作ろう！」

- ・レシピと指導案の違いを知る。
- ・情報教育の目標について知らせ、「火曜の会ホームページ：<http://kayoo.org/home/>」で目標リストを確認する。
- ・情報教育の目標リストを組み込んだ目標カードを作成する。
- ・サンプルレシピを参考にして、前回作成した略案をレシピに加工する。
- ・レシピ作成にあたっては、「学年、教科、授業の概要、本時の目標、情報教育の目標、学習の流れ」の項目を明確にする。

e-learning の実施

Unit3 デジタルコンテンツの使った教材レシピを作ろう(2 時間)

課題(1)：レシピと指導案の違いを説明しよう。

評価基準：レシピと指導案の違いが説明できたか。

- A：レシピと指導案の違いが説明できる。
- B：レシピは説明できるが、指導案との違いが明確にできない。
- C：レシピについて説明できない。

課題(2)：略案をレシピに加工して提出する。

評価基準：略案をレシピに作り替えることができたか。

- A：略案に情報教育の目標を付加し、レシピに書き直すことができる。
- B：略案に情報教育の目標は付加できるが、レシピに書き直せない。
- C：レシピに書き直すことができない。

- ・次回までに Unit3 をしておき、レシピを完成させておく。

(4) 「模擬授業に挑戦！」

- ・「模擬授業チェックシート」の使い方を説明する。
- ・作成したレシピに従って一人10分程度の模擬授業を行う。
- ・お互いの模擬授業をチェックシートで評価する。

e-learning の実施

Unit4 究極のレシピを作ろう(2 時間)

課題(1)：デジタルコンテンツを活用するよさを説明しましょう。

評価基準

デジタルコンテンツを活用した授業のポイント、そのよさが理解できたか。

- A：デジタルコンテンツを活用した授業のポイントやそのよさが説明できる。
- B：デジタルコンテンツを活用した授業のポイントは分かるが、そのよさが説明できない。
- C：デジタルコンテンツを活用した授業のポイントも説明できない。

Unit4 究極のレシピを作ろう(2時間)

課題(2)：レシピを修正し、実際の授業で活用できるようにしよう。

評価基準

授業で活用できるレシピに修正できたか。

- A：教科のねらい、情報教育のねらい、活用の理由が分かりやすく明記されたレシピに修正できた。
- B：ねらいや活用の理由が整理されていないが、レシピは修正できた。
- C：授業のポイントが明記できない。

- ・ Unit4 を後日提出する。